

平成30年度版

研修ご担当者様

高次脳機能障害者への支援のための 出張勉強会のご提案

堺市立健康福祉プラザ
生活リハビリテーションセンター
(堺市高次脳機能障害支援拠点機関)

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

支援する方々の共通の疑問や課題

「高次脳機能障害ってなんだかよくわからない」

「どのようなリハビリがあるの？」

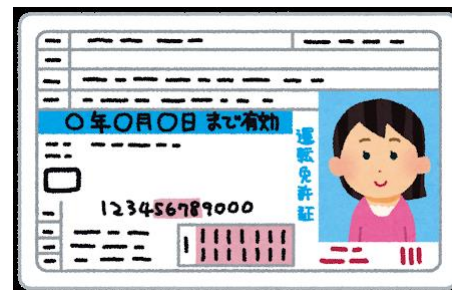
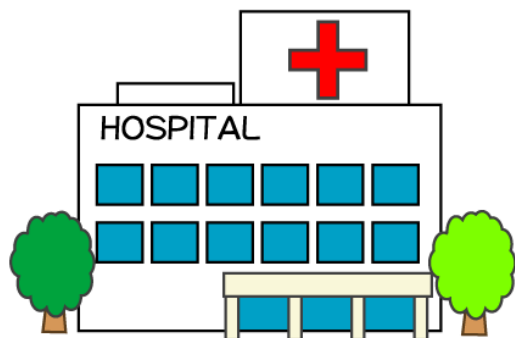
「リハビリ後の生活が知りたい」

「神経心理学的検査って難しい？」

「感情コントロールができない人の対応は？」

「コミュニケーションを上手くするための工夫は？」

「自動車は運転していいの？」



平成30年度も堺市高次脳機能障害支援拠点機関による高次脳機能障害者支援に関する出張勉強会を開催いたします。

新たなテーマを加えて内容も一層充実したものになりました。

医療・福祉の分野で日々高次脳機能障害者の支援に携わっている施設・事業所における人材育成のための施設内勉強会等にご活用ください。



生活リハが提供する研修会の特徴

- 支援経験に基づく実践的内容
- 一般論から各論までのバリエーションが豊富
- 堺市内の資源紹介なども可能
- 個別の支援課題に対する具体的提案も可能
- 参加者の要望に合わせてアレンジが可能
- 支援拠点との「顔の見える関係づくり」の機会
- 引き継いだケースのフォローアップに

	平成27年度実績とテーマ	参加者
A病院	高次脳機能障害の就労支援について	76
B病院	高次脳機能障害ってどんなもの	39
	生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割	30
	高次脳機能障害に対するリハビリテーションと 具体的な対応方法について	18
	高次脳機能障害者の社会参加支援について	58
	高次脳機能障害に対する医療から福祉へのきれめのない支援 ～より良い地域生活のために～	13
C病院	堺市高次脳機能障害支援拠点機関の役割・高次脳機能障害とは	64
	高次脳機能障害に対するリハビリテーションと 具体的な対応方法について	27
	高次脳機能障害における社会的行動障害とその対応について	19
	注意障害の認知リハビリテーションについて 適切な座位姿勢のための 簡易な評価方法とその対処法について	21
	高次脳機能障害のリワーク（復職）について 高次脳機能障害者の社会参加支援について	31
D病院	生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割	17
	病院と生活リハビリテーションセンターとの連携 「利用者さんは退院後に生活リハでどんなリハをして、卒業後はどんな生活を送っているのか」	13
4病院 延べ13回開催		参加者合計 426

	平成28年度実績とテーマ	参加者
A病院	「高次脳機能障害とは？」	45
	「高次脳機能障害に対するリハビリテーションと具体的な対応方法について」	35
	「高次脳機能障害における社会資源について」	27
	「入院中の高次脳機能障害者への対応について ～病棟における観察・対処のポイント～」	19
B病院	「社会的高度障害への適切な対応と 支援者が知っておきたいこと」	31
	「高次脳機能障害における 社会資源について」	22
	「高次脳機能障害とは？」	31
	「適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について」	16
	「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加 ～就労について～」	22
C病院	「生活リハ（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）について」	15
D介護サービス	「高次脳機能障害とは」	20
EヘルパーS	「高次脳機能障害とは」	24
FヘルパーS	「高次脳機能障害とは」	28
GヘルパーS	「高次脳機能障害とは」	12
3病院 4介護保険事業所 延べ14回開催		参加者合計 347

	平成29年度実績とテーマ	参加者			
A病院	「高次脳機能障害者に対する自動車運転技能評価」	14			
B病院	「退院後自立訓練事業所を利用した 高次脳機能障害の事例」	18			
	「小児の高次脳機能障害支援について」	25			
C作業所	「記憶障害への対応」	16			
D介護センター	「高次脳機能障害とは？」	10			
	「失語症のある方への対応について」	8			
	「社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」	8			
Eケアステーション	「高次脳機能障害とは？」	9			
Fケア連絡会	「高次脳機能障害について ～堺市における支援体系と障害像及びその適切な支援方法について～」	22			
Gケア連絡会	「高次脳機能障害の支援について学びましょう」	64			
Hケアプラザセンター	「高次脳機能障害とは？」	30			
	「社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」	28			
2病院	1作業所	5介護保険事業所	延べ12回開催	参加者合計	252

研修会のテーマ

①社会資源編：主に相談支援者向け

1. 「堺市内高次脳機能障害支援拠点と自立訓練事業について」

生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割や機能について、特に自立訓練事業についての情報をお伝えします。相談支援に関わる方には役立つ情報となると思われます。

2. 「高次脳機能障害とは ～高次脳機能障害を理解するために～」

高次脳機能障害の原因や症状などをわかりやすく説明します。特に高次脳機能障害の支援に関わった経験の少ない方々向けのプログラムです。

3. 「相談支援のポイント ～実際の事例を通じての課題の整理と対応～」

専門相談支援現場から見えてきた当事者・家族の困り事をタイプ別に分類し、それぞれの課題について事例を通じて解説します。中途障害者の将来不安を軽減するための基本となる見通しを立て継続的支援の必要性を確認いただく内容です。

4. 「障害福祉サービスと介護保険サービスの連携について」

主に第2号被験者の自立生活に向けた支援にとって適切なサービスを組み立てるための情報整理となるプログラムです。特にケアマネージャー向けの内容になっています。

New!

研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

5. 「社会的行動障害（主に感情コントロール）への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」

高次脳機能障害の症状の中で最も対応が困難とされる感情コントロールの障害が起きる仕組みや支援現場における適切な対処方法について解説していきます。

6. 「SSTから考える 社会的行動障害への対処法」

高次脳機能障害の症状の中で最も対応が困難とされる感情コントロールの障害を中心にSST（社会技能訓練）の実施方法やその効果について解説を行います。

7. 「記憶障害、注意障害に対する認知リハビリテーションについて」

高次脳機能障害の中で最も見られやすい記憶障害、注意障害に対する認知リハビリテーションの方法などを紹介します。また、訓練効果の上がる要素や特性などを事例を通して障害全体像と対比しながら解説していきます。

研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

8. 「失語症のある方への対応について」

言葉や文字による意思疎通が困難である失語症のある方との信頼関係の築き方について、症状の理解や適切な対応方法に事例を通して解説していきます。

9. 「子どもの高次脳機能障害支援について」

New!

子どもの高次脳機能障害の特徴や課題について分かりやすくまとめてみました。特に成長に伴う支援課題の変化に着目した内容になっています。

10. 「生活リハビリテーションセンター（自立訓練）利用した方の経過について ～ 実際の連携ケースから学ぶ支援のあり方の検討～」

実際に生活リハビリテーションセンターに繋いで頂いたケースの経過報告をもとに、医療・福祉連携の実際を検討していきます。注1

注1：当事者承諾のもと連携したケースに限ります。



研修会のテーマ

③社会参加編：主に相談・就労支援者向け

11. 「高次脳機能障害者のリワーク（復職）について」

頭部外傷や脳卒中による中途脳損傷者が、職場へ復帰するまで準備としての訓練や調整事項、さらに就労定着までに必要な方法について説明します。特に焦る気持ちに寄り添いながら十分な準備を行うことの重要性についての解説となります。



12. 「高次脳機能障害者の社会参加支援について」

高次脳機能障害が原因でひきこもりがちな生活となってしまう方が少なくありません。充実した地域生活を行うためには安定的継続的な社会参加が大切です。障害受容までの過程や新たな社会参加に至った経過など事例を交えて解説します。

13. 「わかりやすい『神経心理学的検査とは』」

高次脳機能障害の評価である神経心理学的検査についてわかりやすく解説します。特に専門用語を聞くだけで難しいと思いがちな神経心理学的検査の結果を上手く支援に役立てるヒントになるように解説します。

New!

研修会のテーマ

④社会参加編：主に直接支援者向け



14. 「高次脳機能障害者支援における園芸活動」

高次脳機能障害者の支援における園芸活動は、季節の変化や活動の達成感を得られる有効な支援の一つです。手軽にできる園芸プログラムや各施設で導入できそうな園芸活動について紹介します。

New!

15. 「生活期の片麻痺者の自立に向けて」

回復期リハビリテーションを終えて在宅生活を始めた当事者の身体機能の維持向上のため取り組みや生活の自立度を高めるための取り組み方法と期待できる効果について事例をあげて紹介します。

16. 「適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について」

身体の麻痺や高次脳機能障害による空間認知の障害は、座位姿勢に大きな影響を与えます。車椅子座位や作業中の座位姿勢を適切に整えることで、移動や作業能力を高めることができます。座位姿勢について、支援現場でできる簡便な評価方法を解説します。



研修会のテーマ

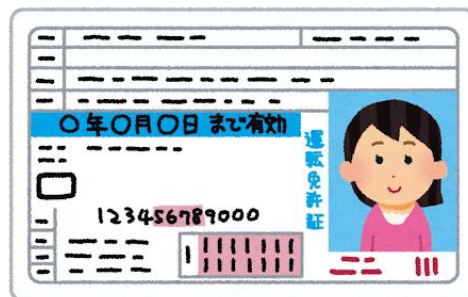
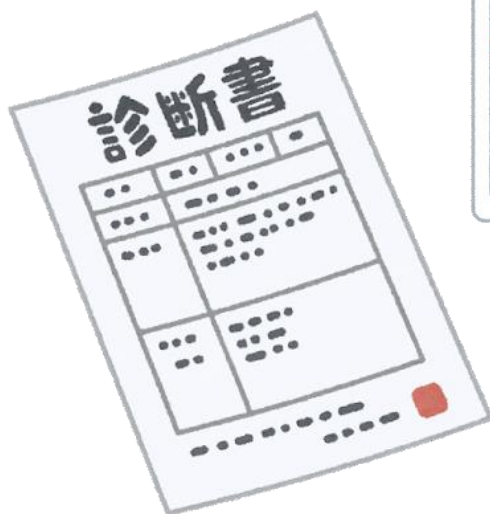
②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

New!

17. 「高次脳機能障害者の自動車運転について」

最近話題となっている高次脳機能障害者の自動車運転再開について、法律や制度とともにこれまで大阪府と堺市が行ってきた運転技能評価の取組み内容をもとに解説します。

また、健康福祉プラザにおいては自動車運転シミュレーターを使用体験を含めた研修会が実施できます。



お申し込みと実施方法

- ① ご希望の日時・場所をお教えてください（土・日・祝日を除く午前10時から午後7時までの時間帯）。
- ② 主な参加対象者とおおよその参加人数をお知らせください（5名以上でお願いします）。
- ③ 開催時間は1回60分程度になります。
- ④ 費用は**無料**です。
- ⑤ 資料は10部までこちらで用意します（それ以上必要であれば、事前プリントアウトまたはデジタルデータにてお渡しします）
- ⑥ 参加者アンケート・参加者リスト（職種と人数）にご協力ください。
- ⑦ 開催にあたって事前のお打ち合わせをお願いする場合があります。
- ⑧ 健康福祉プラザにて開催することも可能です（会場費は無料ですが、障害者手帳のない場合の駐車料金が必要です）。
- ⑨ 複数の内容をシリーズで実施することも可能です（但し1施設5回）。
- ⑩ ご希望のテーマでの研修内容もお気軽にご相談ください。

お申し込み・問い合わせ先

堺市立健康福祉プラザ

生活リハビリテーションセンター

電話 072-275-5019

担当 別府・正田

メール seikatsu-reha@sakai-kfp.info

お気軽にご相談
ください。

